

日本史

I 次の文章の「ア」～「ク」に最も適当な語句を記し、問(1)～(6)に答えよ。

59 代宇多天皇は、^(a)臣籍に降ろされていたが復歸して即位した初例で、当初は権威に欠ける天皇だったことから、引き続き藤原基経に政治運営を任せようと勅書を送った。ところが、^(b)基経は詔にあった「「ア」」という言葉に文句をつけ、「「ア」とは実権のない名誉職だ」として出仕を拒否した。この事件は、詔の起草者・「イ」に対する抗議だった。彼の娘は宇多天皇の最初の妻で、2人の親王が産まれていたことから基経は自分の権威を保つためにも彼を蹴落とす必要があったのである。

891年に基経が亡くなると、その後嗣の藤原「ウ」はまだ若かったこともあり、宇多天皇は^(c)親政を始めた。まず、それまで住んでいた東宮御所から「エ」に移り、太政官の人事異動を行った。そこで関白は置かず、前年春に讃岐守の任期満了で帰京した菅原道真を「イ」の後釜として期待し、まずは^(d)蔵人頭に補して重用した。それから道真は1ヶ月半の間に、蔵人頭・式部少輔・左中弁を兼任し、さらには参議、中納言、権大納言とますます出世していった。

宇多天皇は897年に譲位し、皇太子・敦仁親王が「オ」天皇として即位した。宇多天皇は、政務について詳細に書き記して彼に与えた。これが『「カ」』と呼ばれるもので、道真を政務に明るく反論を厭わない学者だと評し、重用するよう命じた。これを受け醍醐天皇は899年、「ウ」を左大臣に任じると同時に、道真を右大臣に昇進させた。

一方、宇多上皇は^(e)東寺で灌頂を受け、「キ」寺で落髪した。宇多上皇が出家したことで、道真は殆ど唯一の後ろ楯を失ってしまったのである。そこで、^(f)道真と対立する勢力の働きかけにより901年、厳戒体制が敷かれる中、「道真を「ク」として大宰府へ左遷し、源光を右大臣に任ずる」という宣命が「エ」において出され、道真は突如として失脚し、失意のうちに亡くなった。

問

- (1) 下線部(a)について、父・平城天皇が薬子の変により失脚したことを受け、行平・業平ほか子供等に在原姓を賜わり臣籍降下させた人物は誰か。
- (2) 下線部(b)について、この事件において基経の意を体したことから宇多朝では地方官に左遷されたものの、次の醍醐朝ではその経験を活かして「意見封事十二箇条」を奏上した人物は誰か。
- (3) 下線部(c)について、この治世を何と呼ぶか。
- (4) 下線部(d)について、初代蔵人頭として藤原冬嗣と共に任じられ、坂上田村麻呂と共に蝦夷を征伐した武官としても知られる人物は誰か。
- (5) 下線部(e)について、大納言・藤原良房を勅使として遣わし、東寺を空海に勅給した天皇は誰か。
- (6) この事件を何というか。

Ⅱ 次の文章(①～⑨)の ア ～ ヌ に入る最も適当な語句・数字を記せ。さらに、問(1)、(2)について、それぞれ8行以内で解答せよ。

- ① 平安時代中期、ほぼ同時期に、関東で平将門の乱、瀬戸内海で藤原純友の乱が起こった。これら2つの乱を総称して、 ア の乱という。平将門の乱を鎮圧したのは、将門と敵対していた平貞盛、下野押領使・ イ で、藤原純友の乱を鎮圧したのは、追捕使の ウ ・源経基である。
- ② 1156年に起こった エ の乱は、鳥羽法皇崩御後の「治天の君」を巡る争いである。この争いに勝利した後白河天皇は院政を開始した。敗北した オ 上皇は讃岐国に配流された。
- ③ 1159年、後白河上皇の院近臣の内部争いである平治の乱が起こった。これは源氏と平氏の一族をかけた争いでもあり、平清盛が京を離れた隙を狙って、源義朝は カ と対立していた藤原信頼と手を結んで謀反を起こしたが、失敗した。この争いに勝利した平清盛が、平氏政権を確立させることとなる。敗北した源義朝は敗死、源頼朝は キ へ幽閉となった。ところが、以仁王の令旨を受けて岳父・ ク らとともに挙兵し、最終的に平氏を滅ぼした。
- ④ 1221年に起こった承久合戦(承久の乱、承久の変)は、後鳥羽上皇が鎌倉幕府執権・ ケ 討伐の兵を挙げたことに始まる。この争いに破れた朝廷側は、後鳥羽上皇・順徳上皇・ コ 上皇の配流、 サ 天皇の廃位、土地の没収などの処分が下された。
- ⑤ 88代後嵯峨上皇の崩御後、皇位を巡る争いが勃発した。89代 シ 天皇の系統・持明院統と、90代亀山天皇の系統・大覚寺統が争ったが、鎌倉幕府が介入し、両統迭立の原則を確立させた。これを ス の和談という。
- ⑥ 1318年、大覚寺統の後醍醐天皇が即位した。後醍醐天皇は父・ セ 上皇の院政を停止し、さらには鎌倉幕府を倒そうとしたが2度失敗した。これらを、 ソ の変・元弘の変という。元弘の変で後醍醐天皇は隠岐に配流され、代わって タ 天皇が即位した。
- ⑦ 足利高氏が六波羅探題を、 チ が鎌倉を攻撃したことを受け、14代執権・ ツ が自害した。こうして1333年、鎌倉幕府は滅びた。後醍醐天皇は伯耆の テ の援助で隠岐を脱出し、京都に迎えられ再び即位した。そして建武の中興(建武の新政)を開始した。
- ⑧ 1335年に起こった、 ト による中先代の乱を鎮圧した足利尊氏は、後醍醐天皇に反旗を翻した。尊氏は1336年、湊川の戦いで後醍醐天皇側の ナ を敗死させ、再び入京すると後醍醐天皇を幽閉し、建武の中興(建武の新政)を終わらせた。
- ⑨ ニ 年、南朝の後亀山天皇が北朝の ヌ 天皇に譲位する形で、足利義満により南北朝が統一された。

問

- (1) 奥州藤原氏の盛衰について、文化面にも触れつつ説明せよ。
- (2) 室町時代における日朝貿易の開始と衰退について、日本の輸出入品にも触れつつ説明せよ。

Ⅲ 次の文章を読んで後の問いに答えよ。

肥前島原では慶長19(1614)年にキリシタン大名であった旧主の【1】氏が日向延岡へ加増・転

封となり、代わって大和五条から【2】氏が入った。また肥後天草にはキリシタン大名であった旧主の【3】氏が関ヶ原の戦いで敗北した後、肥前唐津に本領を持つ【4】氏の飛び地となっていた。

【2】・【4】両氏は飢饉の中重税を課すなどの圧政をしており、またかつて日本におけるキリスト教(カトリック)の中心であったとも言えるこの場所で厳しい①キリシタン弾圧を行っていた。(乱の前には表面的にはキリシタンはほぼいなくなっていたものの、実際には隠れキリシタンという形で存在していた。)これに耐えかねた領民らは、寛永14年10月25日に島原南部で代官所に押し寄せ代官を殺害し、その後寺社など放火しつつ数日後には島原城を襲った。それと同じ頃に天草の大矢野島・上津浦でも領民が蜂起した。その後島原勢の一部と合流し、11月14日に本渡で富岡城代の三宅藤兵衛重利を討ち取った。さらに富岡城を包囲するが守りが堅く、またその間に②幕府が板倉重昌を上使とした討伐軍を編成し出動させたことにより富岡城攻略を諦めた。そして海を渡り廃城となっていた島原半島南部の【5】城に入り島原勢と合流し、3万人余りでこの【5】城に籠った。討伐軍は12月5日に島原城に到着すると、10日と20日に総攻撃を行ったがいずれも失敗した。また後続の上使として老中松平信綱が派遣されたことに焦っていた板倉重昌は翌年元旦に総攻撃を強行したが大敗を喫し、自身も被弾し戦死した。しかし4日に松平信綱が着陣すると、兵糧攻めに転換し城内の食糧が尽きるのを待った。そして2月28日～29日にかけて12万に膨れ上がった大軍勢で総攻撃を行い、ほぼ全員を殺害し、乱は終結した。なお、戦後処理で乱を起こした責任を問われ、【2】氏は改易、【4】氏も天草を没収された。

問1 【1】～【5】に当てはまる適切な単語を答えよ。

問2 この一揆の中心人物とされる天草四郎の本名を答えよ。

問3 傍線部①とあるが、このきっかけのひとつとなったといわれる、1612年に起こった【1】氏の当主が死罪となった事件の名前を答えよ。

問4 傍線部②とあるが、この時の将軍と大老(2人)は誰か。それぞれ答えよ。

問5 この一揆では、幕府方にネーデルラント連邦共和国(オランダ)が援助し、海からの砲撃などを行っていた。同国はどのような思惑で幕府方を援助したと思われるか、当時の世界情勢を踏まえつつ2行以内で述べよ。

Ⅳ 次の史料を読み、問(1)～(11)に答えよ。なお、史料の表記は便宜上、改めたところがある。

茲ニ新年ヲ迎フ。顧ミレバ明治天皇明治ノ初^{はじめ}国是トシテ五箇条ノ御誓文ヲ下シ給ヘリ。日ク、

一、(a)広ク^アヲ興シ万機^イニ決スヘシ

一、上下心^{しょうか}ヲ一ニシテ盛ニ^{おの}経綸ヲ行フヘシ

一、官武一途庶民ニ至ル迄^{おの}各^{おの}其志ヲ遂ケ人心ヲシテ倦マサラシメンコトヲ要ス

一、(b)旧来ノ陋^{ろうしゅう}習ヲ破リ天地ノ(c)公道ニ基クヘシ

一、智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ

叡旨公明正大、又何ヲカ加ヘン。

(中略)

大小都市ノ蒙^{こうむ}リタル戦禍、罹災者ノ艱苦^{かんく}、産業ノ停頓、(d)食糧ノ不足、(e)失業者増加ノ趨勢^{すうせい}等ハ真ニ心ヲ痛マシムルモノアリ。然リト雖モ、我國民ガ現在ノ試煉^{しれん}ニ直面シ、且徹頭徹尾文明ヲ平

和ニ求ムルノ決意固ク、^よ克ク其ノ結束ヲ全ウセバ、独リ我国ノミナラズ全人類ノ為ニ、輝カシキ前途ノ展開セラルルコトヲ疑ハズ。

(中略)

然レドモ朕ハ^{なんじら}爾等国民ト共ニ在リ、常ニ利害ヲ同ジウシ休戚ヲ分タント欲ス。朕ト爾等国民トノ間ノ^{ちゅうたい}紐帶ハ、終始相互ノ信賴ト敬愛トニ依リテ結バレ、単ナル神話ト伝説トニ依リテ生ゼルモノニ非ズ。天皇ヲ以テ^ウトシ、且日本国民ヲ以テ他ノ民族ニ優越セル民族ニシテ、^(f)延テ世界ヲ支配スベキ運命ヲ有ストノ架空ナル觀念ニ基クモノニモ非ズ。

(中略)

御名 御璽

昭和二十一年一月一日

内閣総理大臣兼第一復員大臣第二復員大臣 男爵 ^エ

(中略)

^(g)内務大臣 堀切善次郎

(中略)

国务大臣 ^オ

問

- (1) 下線部(a)について、元は「列侯」となっていたが、「広く」に修正された。修正を行った人物は誰か。
- (2) ^ア, ^イに入る適当な語句をそれぞれ漢字2字で記せ。
- (3) 下線部(b)について、「旧来ノ陋習」とは「昔の悪習」を意味するが、これは何を指すか。
- (4) 下線部(c)について、「公道」とは「世界共通の正しい道」を意味するが、これは何を指すか。
- (5) 下線部(d)について、第2次世界大戦直後、経済統制を無視して食糧品や生活用品の取引・飲食の提供などを公然と行っていた露店群を何というか。
- (6) 下線部(e)について、失業者が増大したのはなぜか、1行で述べよ。
- (7) ^ウに入る適当な語句を漢字3字で記せ。
- (8) 下線部(f)について、これは何を指すか漢字4字で記せ。
- (9) ^エに入る人物は誰か。
- (10) 下線部(g)について、初代内務大臣は誰か。
- (11) ^オには、阪急電鉄の創業者であり、宝塚歌劇の発展にも大きな貢献をした人物が入る。その人を答えよ。